



小野小だより

「強く 正しく 美しく」

令和3年2月1日

「追い払うのは、自分の中の弱い心だね。」

小野小学校長 檜本由広

2月1日(月)、全校生に校内放送で話しました。

「皆さん、おはようございます。もう2月になりました。それぞれの学年のまとめも、次の段階に進むんですよ。」

「明日は、節分だね。節分と言えば…。豆。そう、食いしん坊だね。節分と言えば…。恵方巻。どこまでも食いしん坊だね。」

「節分と言えば、『福は内、鬼は外』だね。福とは幸せ。幸せは、家の中にも、学校の中にも、いっぱい入ってきてほしいよね。じゃあ、鬼とは、何でしょう？」

「今日は、鬼について考えてみましょう。」

1年生たちが、大きな鬼の絵をかいているよ。

1年生に尋ねました。『どんな鬼をかいたの?』その答えは、『ぼくは、忘れんぼ鬼。よく忘れ物をするから。』もう一人は、『ぼくは、怒(いか)り鬼。すぐ怒ってしまうから。』と教えてくれました。」

「1年生は、自分の直したいことを『鬼』として表現して、『鬼は外』と言いながら追い払おうとしてるんだね。その鬼を追い払うと自分が成長するものね。」

「なるほど、そういうことだったのか。『鬼』って、自分の中にある『弱い心』のことなんだ。鬼は外と言って、追い払うのは自分の中の弱い心なのかもしれないね。」

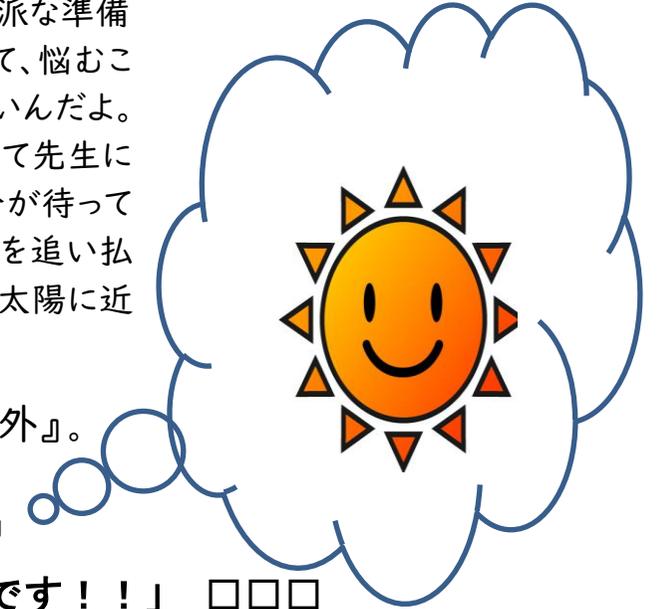
「1年生が表現した鬼を順に見ていくと、その子が強く願って、『毎日頑張ってるんだ』と伝わってくる鬼もありました。今より成長しようと今の自分と闘い続けている姿です。その子の『強い心』が伝わってきました。その願いは、叶う日が必ずやってくるからね。たくさんのお話を、1年生に教えてもらいました。1年生ありがとう。」



「あなたたちの心は、太陽のように、大きく育っています。5年生たちが、児童会選挙を通して次の小野小を背負うための準備を進めています。6年生たちは、卒業に向けてのカウントダウンを始めました。だれだって、がんばろうとしているよね。でも……………」

「やりたいと思うけど、スタートしきれない。立派になろうとしているけど、まだまだ満足できない。『心って、迷うよね。』迷うことも、立派な準備なんですよ。『心って、揺れるよね。』揺れて、悩むことも、自立のためには欠かすことができないんだよ。迷ったり、悩んだりしたときは、友達に、そして先生に相談しなさい。きっと、晴れ晴れとした気分が待っていますから。そして、安心しなさい。弱い心を追い払おうとすることも、迷い、悩んでいることも、太陽に近づいている証拠ですから。」

「春はすぐそこです。願いを込めて、『鬼は外』。きっと、あなたに幸せがやってきます。」  
「いつだって、応援しています。『福は内』」



### □□ 「追い払うのは、ウイルスです!!」 □□□

感染症への対応について、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

暦の上では、春になろうとしています。北風が吹きますと寒さがこたえます。感染症対策で換気が必要とはいえ、勉強するには最適という環境にするのが難しい状況に対し、ひざ掛け、重ね着等、ご理解とご協力ありがとうございます。

各地の感染状況を耳にするたび、いつ何時、「同じような状況になるかもしれない」と、不安を抱えつつも、子供たちと職員と、そして保護者の皆様とその対応に取り組んでいるところです。

子供たちには、登下校や外遊びの時もマスクをするよう伝えています。休日や帰宅後の外出、お友達と遊ぶ際にもマスクを着用するよう伝えてください。マスクをしていることで、自分自身を守ることはもちろん、“もしも”という時にも、相手を感染させない、周囲の人たちを濃厚接触者にしないことにもつながります。お互いの安心のため、徹底していただきますようお願いいたします。

最後は、「新型コロナウイルス感染症や感染者に対する偏見やいじめ等は許されない」ということです。追い払うべきものは、ウイルスです。「誰もが、感染するかもしれない状況だからこそ、緊急事態宣言なんだ。」と思っています。“もしも”が迫っているととらえつつも、「感染症や感染者に対する偏見やいじめ等は絶対に許さない」ことを、ご家庭でも折に触れて一緒に考えていただきますようよろしくお願いいたします。

気になることは、学校へご連絡をお願いします。